

十勝関係選手

◇長島圭一郎(ながしま・けいいちろう)
=短距離
池田町出身、1982年4月20日生。五輪は3大会連続3度目。バンクーバー500㍍の銀メダリスト。W杯で今季2勝している日本の短距離エース。172㍍、70㍍。500㍍のみ出場。



◇及川 佑(おいかわ・ゆうや)
=短距離
池田町出身、1981年1月16日生。五輪は3大会連続3度目。トリノ五輪500㍍4位。持ち味は国内最速のロケットスタート。悲願のメダルを目指す。172㍍、71㍍。500㍍のみ出場。



◇辻 麻希(つじ・まき)
=短距離
帯広市出身、1985年4月27日生。初出場。国内女子最速のダッシュ力を武器に、国内トップクラスを保持。「出るだけではなくメダルを取る」。162㍍、58㍍。500、1000㍍に出場。



◇押切美沙紀(おしぎり・みさき)
=中長距離
中札内村出身、1992年9月29日生。初出場。スプリンターから転向。体格を生かしたダイナミックな滑りが持ち味。「気持ちで滑りたい」。167㍍、60㍍。1500㍍と団体追い抜きに出場。



◇高木菜那(たかぎ・なな)
=中長距離
幕別町出身、1992年7月2日生。初出場。今季急成長。妹美帆との姉妹出場は逃したが、「負けたくない」という気持ちで臨みたい。155㍍、47㍍。1500㍍と団体追い抜きに出場。



◇藤村祥子(ふじむら・しょうこ)
=中長距離
オホーツク管内美幌町出身、音更町在住、1987年4月26日生。選考会の一発勝負で初出場をつかんだ。「最高のレースをしたい」。154㍍、50㍍。3000、5000㍍に出場。



◇石澤志穂(いしざわ・しほ)
=中長距離
中札内村出身、1986年10月23日生。昨季の不調で強化選手から外れていたが、W杯5000㍍4位で2大会連続出場を早々と決めた。167㍍、67㍍。3000、5000㍍に出場。



ソチへ十勝7人

【長野】日本スケート連盟は29日、来年2月7日に開幕するソチ五輪(ロシア)に出場するスピードスケート日本代表の男女17選手を発表した。十勝関係選手は男子短距離の長島圭一郎選手(31)=日本電産サンキョー一日大、池田高出=ら男子2人、女子5人の計7人が出場を決めた。十勝関係代表選手数の過去最多は、バンクーバー五輪(2010年)とトリノ五輪(06年)の10人。(12、13、14、15面に関連記事)



スピードスケート辻、押切ら初出場



十勝関係は長島選手のほか、及川佑(32)=大和ハウス工業-山梨学院大、池田高出、辻麻希(28)=開西病院、押切美沙紀(21)=富士急-駒大苫小牧高、中札内中出、高木菜那(21)=日本電産サンキョー-帯南商高、藤村祥子(26)=宝来中央歯科、石澤志穂(27)=トランス-駒大苫小牧高、中札内中出の各選手。初出場は辻、押切、高木、藤村の4選手。

全体では、女子は上限の10人が選ばれた。男子は最

大8人まで選べたが、選考基準と各種目の出場枠の関係で7人となった。

前回代表の太田明生(29)=JR北海道-明大、池田高出、羽賀亮平(25)=日本電産サンキョー-日本電産サンキョー一日大、白樺学園高出、高木美帆(19)=日体大-帯南商高出の各選手は、連続出場を逃した。

2大会ぶりの出場を目指した石野枝里子選手(28)=日本電産サンキョー-白樺学園高出は、5000㍍で3位に入ったが漏れた。女子500㍍3位、1000㍍4位で代表に有力視されていた神谷衣理那選手(21)=毎日元気-白樺学園高出も落選した。

(岡部彰広)

ソチ五輪のスピードスケート代表に選ばれた選手たち。下段左から菊池彩花、高木菜那、藤村祥子、田畑真紀、中段左から押切美沙紀、住吉都、小平奈緒、辻麻希、穂積雅子、石澤志穂、上段左からウイリアムソン師門、山中大地、上條有司、長島圭一郎、加藤条治、及川佑、近藤太郎の各選手